

全3回

「ことば / テクスト」に向き合うということ — ドイツ文学の世界から —

講師：林 正則 (はやし まさのり) 先生

大阪大学名誉教授
放送大学大阪学習センターアドバイザー(前所長)

潮芦屋文学セミナー 2017年春期講座

主催 潮芦屋交流センター、NPO法人芦屋市国際交流協会

第1回：4月13日(木)10:30~12:00

ヘルダー『エドワード』 / ゲーテ『魔王』 / ハイネ『ローレライ』
バラード(物語詩)の世界を通して18世紀後半のドイツにおける個我の覚醒と
社会へのまなざしの先鋭化を探ります。

第2回：5月18日(木)10:30~12:00

シュトルム『三色堇』
市井の人々の営みを、愛と憂愁に満ちたまなざしで見つめたシュトルム。
その世界を覗いてみます。

第3回：6月15日(木)10:30~12:00

カフカ『変身』 / パウル・ツェラーン『死のフーガ』
終末の予兆とことばの「無力/力」に文学はどう向き合ったのか。
「変身」と「死のフーガ」を手掛かりに考えます。



- ◆ 会場：潮芦屋交流センター
- ◆ 参加費：700円(1回あたり)1回毎の参加可
- ◆ 事前にお電話でお申し込み下さい。

TEL0797-25-0511

- 第1回のテキストは会場にて配布します。
- 第2回シュトルム『三色堇』、第3回カフカ『変身』を事前にお読み頂ければ、講義の内容をより理解して頂けます。
- 参考図書：「ドイツ名詩選」岩波文庫
- 講義で扱う資料は当日受付にてお渡し致します。

潮芦屋文学セミナー

問い合わせ先：潮芦屋交流センター
(指定管理者：NPO法人芦屋市国際交流協会)
住所：芦屋市海洋町7-1
電話：0797(25)0511
URL：<http://ashiya-sec.jp/>
受付：9時~17時30分(水曜日休み)

◆バスのご案内◆
71番 浜風大橋南行
阪急バスにて阪急芦屋川より約18分
潮芦屋中央にて下車南西徒歩5分

	1本目	2本目
阪急芦屋川発	9:36	9:55
JR芦屋	9:40	9:59
阪神芦屋	9:47	10:06
潮芦屋中央着	9:54	10:13